TOSHIBA

住宅用火災警報器ベース(単独型用)　SH5100 屋内専用　施工説明書

(施工される方へ) 正しく施工するために必ずお読みください

施工上のご注意

- 施工には、電気工事士の資格が必要です。
- 施工後は取扱説明書(保証書付き)を必ずお客様へお渡しください。
- 施工後は取扱説明書によって、お客様へ商品の取り扱いを説明してください。
- この商品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。
- AC100V端子を使用しての送り接続はしないでください。
- AC100V端子の電線はφ1.6～φ2.0のVVFまたは600V IV線をご使用ください。
- 施工説明書に従わず施工した場合や、取扱説明書に従わず使用された場合は責任を負いかねることがございます。

警告・注意表示等の基準

この取扱説明書の中で使用している警告・注意表示等の基準は、下表の通りです。

危険	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性が高い限定的な場合（高度な危険を含む）、または警報機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定される場合。
警告	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合、または警報機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。
注意	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合、または警報機能に悪影響を及ぼす可能性がある場合。

一般的な禁止

分解禁止

必ず行う

⚠ 警　告

■ 感電や発熱・故障の原因になりますので下記の項目をお守りください。

● 電源（AC100V）は必ず切った状態で施工してください。活線工事は感電や発熱・故障の原因となります。

● 電源線(AC100V)は確実に接続してください。

■ この商品は天井面の丈夫なところに、しっかりと取り付けてください。

取り付けに不備があると商品が落下し、ケガをしたり、他の物品を破損する恐れがあります。

■ この商品の取り付け、取りはずしのときは高所作業となり、転倒・落下などの危険があります。

足場の確保など安全に作業できるようにご留意ください。

■ 商品の分解・改造は絶対にしないでください。故障・事故の原因になります。

■ 傷つけ、ペンキでの塗装は絶対にしないでください。

■ 本体裏面の端子は、先端が鋭くなっております。ケガをする恐れがありますので、取扱には十分ご注意ください。

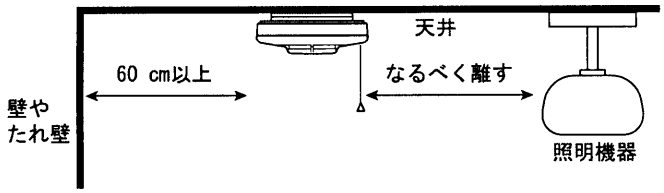
(60805)A

<生産完了 2010年06月23日>

火災警報器の取り付け場所(天井専用)

・火災警報器のテストボタン（警報音停止ボタン兼用）が操作しやすい位置,及び通電灯ランプが確認しやすい位置に取り付けてください。

◎天井面は壁や角から60cm以上離す。(切り妻天井は取付不可)



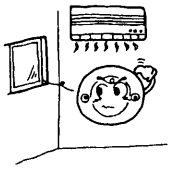
注 意	●薄い天井や石こうボードのような柔らかい天井材に取り付ける場合は、取付強度を十分に確認し、あらかじめ補強を行うか、梁や補強材の入っている場所に取り付けてください。

・警報器は0℃～40℃の温度範囲内の場所に取り付けてください。
・なるべく部屋の中心になる位置に取り付けると、より効果的です。
・階段がある場合は、階段の降り口の天井に取り付けるとより効果的です。

次のような場所には取り付けないでください。

暖房器具の近くなど、
常時熱の発生する場所

屋外や浴室などの水滴のつく所や
温湿度の高い場所
※屋外用ではありません。



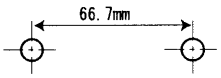
空気の流れが激しい場所
・換気扇や扇風機、エアコンの近く
・すきま風の強い所

ほこりや虫の多い場所

車庫やダイニング、調理場など火災
以外の煙や蒸気などのかかる場所

取り付け寸法

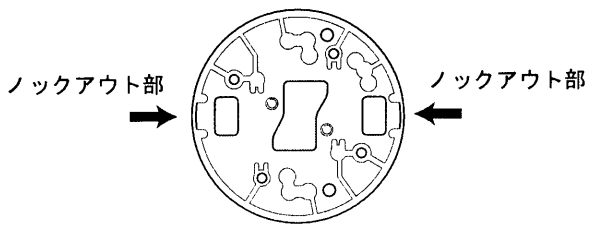
ボックスに取り付ける場合は、下記のボックスに適合します。



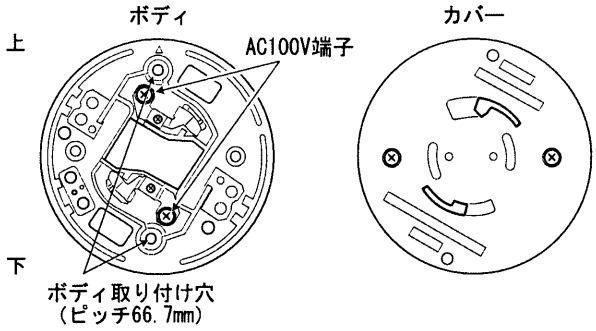
適合ボックス
●JISC8336 アウトレットボックス
●JISC8336 コンクリートボックス

適合ボックスカバー
●JISC8336 丸孔カバー
丸孔カバーに取り付ける場合は、
別途市販のM4ネジをご使用ください。

● 天井面に配線する際、火災警報器を設置する中心部分に配線孔としてφ20程度の穴を天井に開けてください。
配線が露出になる場合は、ベースのノックアウト部を切り欠き、配線してください。

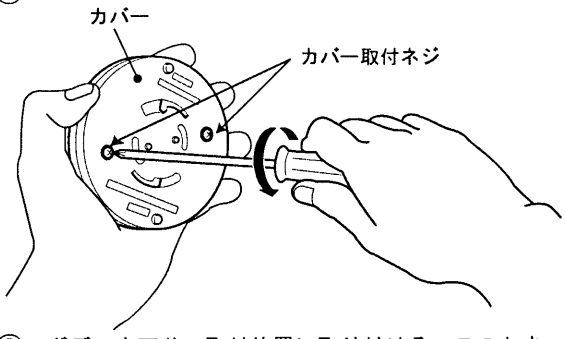


ベースの取り付け・配線箇所

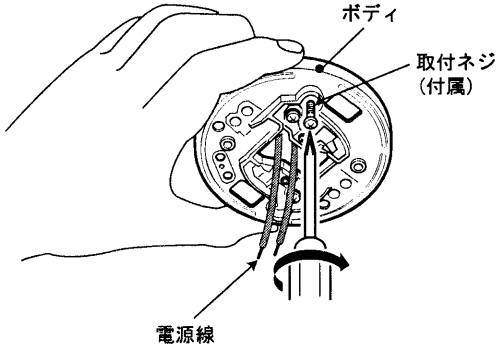


ベースの取付と配線手順

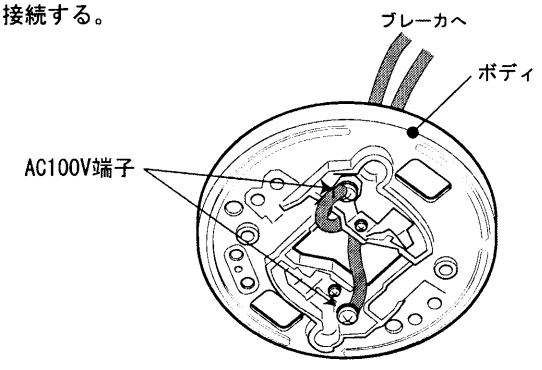
① カバー取付ネジをゆるめてベースのカバーをはずす。



② ボディを天井の取付位置に取り付ける。このとき電源線を指定の穴に通す。



③ 電源線を図の様にベースのＡＣ１００Ｖ端子に確実に接続する。



④ カバーをボディに取り付ける。